

## CS-807の臨床的検討

尾崎敏夫・田村正和・安岡 劭・小倉 剛

徳島大学医学部第三内科

CS-807を呼吸器感染症5例（急性気管支炎2例，気管支肺炎1例，慢性気管支炎 急性増悪例2例）に使用し，その臨床効果，細菌学的効果および副作用，臨床検査値に及ぼす影響について検討した。

いずれの症例においても，咳嗽，喀痰，発熱の臨床症状は投与後3～7日目に消失した。白血球数増多，赤沈亢進，CRP陽性といった検査所見もCS-807投与により改善し，臨床的に有効と判定された。

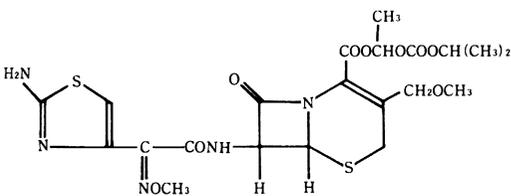
細菌学的にも，5例中3例に肺炎球菌が喀痰中より検出されたが，本剤投与により消失し，有効であった。

本剤の投与期間は平均7.8日であったが，投与による副作用ないし臨床検査値の異常は認めなかった。

以上により，本剤が呼吸器感染症治療に有用な抗生剤であることが示唆された。

CS-807は，Fig. 1の構造をもつ経口用セファロsporin剤であり，グラム陽性菌，陰性菌に広範囲な抗菌スペクトルを有し，従来の経口用セファロsporin剤に比べて，広範囲の感染症治療への有用性が示唆されている<sup>1)</sup>。今回，我々は，本剤を呼吸器感染症に対し使用する機会を得たので，その有効性と安全性を検討した。

Fig. 1 Chemical structure of CS-807



## I. 対象および方法

対象は，昭和61年1月より昭和62年9月までに徳島大学医学部付属病院第三内科を訪れた外来2例，入院3例の呼吸器疾患患者である。全例男性で，年齢は36歳から75歳までの平均59歳であった。症例内訳は，急性気管支炎2例，気管支肺炎1例，慢性気管支炎の急性増悪2例で，気管支肺炎症例は右胸膜癒着があり，慢性呼吸不全患者に発症していた。

CS-807の投与方法は，1回200mgを朝，夕食後の2回経口投与とした。投与期間は7～10日間で，投与量は2.8g～4.0gであった。

効果判定は，自覚的所見および臨床検査値の改善により総合判断し，著効，有効，やや有効，無効の4段階に分類した。

副作用は，自覚所見および臨床検査値の異常の有無により検討した。

## II. 成績

## 1. 臨床的効果

臨床所見および臨床検査成績からみたCS-807の呼吸器感染症に対する有効性は，全例で有効と判定された（Table 1）。

症例1：約1ヵ月前より感冒様症状があり，近医で治療を受けるも改善せず，来院した。初診時，右肺野に湿性ラ音聴取し，白血球増多も認めた。本剤投与により，発熱，咳，痰の消失，理学的所見の改善がみられ，7日目には，白血球数も正常化した。

症例2：約1週間前より，喀痰，咳嗽が出現していた。来院時，胸部X-Pや理学的所見には異常を認めなかった。しかし，自覚症状，白血球数増多，CRP陽性より，急性気管支炎と診断し，本剤を投与した。投与後，自覚症状は改善し，1週間後には白血球数やCRPの検査値も正常化し，本剤が有効であった。

Table 1 Clinical effect of CS-807 treatment

Case	Sex Age	Disease	Isolated organism	CS-807 (mg×days)	Clinical effect	bacteriological effect	Side effect
1. F.Y.	M 59	acute bronchitis	/	400×7	good	/	(-)
2. Y.M.	M 36	acute bronchitis	/	400×8	good	/	(-)
3. M.S.	M 75	bronchopneumonia	<i>S. pneumoniae</i>	400×10	good	(+)→(-)	(-)
4. F.T.	M 62	chr. bronchitis	<i>S. pneumoniae</i>	400×7	good	(+)→(-)	(-)
5. F.T.	M 62	chr. bronchitis	<i>S. pneumoniae</i>	400×7	good	(+)→(-)	(-)

症例5：慢性気管支炎で、頻回に急性増悪を引き起こしている症例で、今回も、喀痰、膿性痰が増加し、かつ、CRPの悪化、赤沈値亢進も認められた。慢性気管支炎の急性増悪として、本剤を投与した。投与後3日目頃から喀痰量の減少がみられ、7日目には、CRP、赤沈値の改善がみられた。

今回の検討では、全例に、本剤投与期間の7～10日以内に症状や臨床検査値の改善がみられ、かつ、投与後1～2週間までの観察では、再発はみられなかった。

## 2. 細菌学的効果

細菌学的検討では、気管支肺炎および慢性気管支炎急性増悪例の計3例の喀痰中より、*S. pneumoniae*が分離されたが、いずれも、CS-807投与により消失した。

症例3：本症例は、従来より高度の右胸膜癒着があり、慢性呼吸不全状態にあった。約1ヵ月前にも下気道感染症を併発し、近医で治療を受けて感染症症状は改善していた。数日前より、再度、発熱、咳、痰の増悪を認めたため当院を訪れた。胸部X-P等から急性気管支肺炎と診断し、本剤を投与した。投与4日目頃から発熱、咳、呼吸困難は改善しはじめ、白血球数も正常となった。投与直前の喀痰から *S. pneumoniae* が検出されたが、投与9日目の喀痰では、菌陰性となった。

症例4：慢性気管支炎で、咳、痰が持続していたが、数日来症状の悪化が認められ、急性増悪と診断された。本剤投与後は、発熱の消失、咳の改善がみられ、本剤が有効であった。

Table 2 Laboratory findings

Case		RBC (×10 <sup>4</sup> /cm)	Hb (g/dl)	WBC (/cm)	ESR (mm/h)	CRP	GOT (IU/l)	GPT (IU/l)	AI-P (IU/l)	BUN (mg/dl)	Cr (mg/dl)
1. F.Y.	B	408	9.5	12300	24		28	19	86.7		
	A	395	9.0	6100	18		23				
2. Y.M.	B	510	15.2	10300	14	+	24	30	82.0		
	A	536	14.8	6700	8	±	22	23	80.0		
3. M.S.	B	406	13.9	21700	66	-	19	16	63.0	30.0	1.5
	A	373	12.1	7800		-					
4. F.T.	B	530	15.4	14900		-	25	74	72.0		
	A	440	13.4	12900	40	-	18	71	73.0		
5. F.T.	B	397	12.0	11300	72	4+	15	33	81.0	20.0	0.6
	A			18500	57	±	22	71	87.0		

B=before treatment, A=after treatment with CS-807

また、投与後、新たな細菌の出現も認めなかった。

### 3. 副作用

自他覚的所見からは副作用は認めなかった。本剤の臨床検査値への影響の検討からも、造血機能、肝・腎機能異常を示す変化は認めなかった (Table 2)。

### III. 考 察

CS-807を呼吸器感染症に投与し、その有効性と副作用について検討した。本検討は、対象とした症例数が少なく、また、分離菌はいずれも *S. pneumoniae* であり、

本結果を呼吸器感染症全般を代表するものとするには問題があるが、本剤が、急性あるいは慢性呼吸器感染症治療に、有用性をもつことを示唆するものと考えられる。

また、副作用と考えられる症状や身体所見あるいは検査値異常を認めなかったことから、本剤が安全に使用出来ることが示唆された。

### 文 献

- 1) 第35回日本化学療法学会総会 新薬シンポジウムII  
1987, 盛岡

## CLINICAL STUDY ON CS-807

TOSHIO OZAKI, MASAKAZU TAMURA, SUSUMU YASUOKA and TAKASHI OGURA

The Third Department of Internal medicine, School of Medicine, Tokushima University, Tokushima

The Clinical and bacteriological effects of CS-807, a new synthetic cephalosporin derivative, were studied in 5 patients with respiratory tract infections.

Clinical efficacy, evaluated by clinical symptoms and examinations, showed that CS-807 had a good effect in all the patients.

Bacteriological findings: *S. pneumoniae* strains, which were isolated from 3 patients, were eradicated by the treatment.

No side effects were observed.

These results indicated that CS-807 is a useful antibiotic against respiratory tract infections.